

～カウンセラーを目指す方へのメッセージ～

フリーアナウンサー/キャリアコンサルタント/カリグラフィーデザイナー

倉橋満里子(28歳)

厚生労働省指定キャリアコンサルタント能力評価試験合格

CDA(キャリア・ディベロップメント・アドバイザー)

+++++

「倉橋満里子という生き方」

私の好きなアーティスト、それはスガ シカオさん。

スガ シカオさんの歌も大好きですが、
私が彼を好きな理由は

スガ シカオさんの“生き方”

会社員からミュージシャンに転職したスガ シカオ。

彼の生き方に、私はなぜかとても共感できるのです。

みなさんは「マイナビ転職」(株式会社毎日コミュニケーションズ)の商業はご存知でしょうか？
そこには、スガ シカオさんからのこんなメッセージがありました。

ミュージシャンになりたいと願っていたら、
ミュージシャンになれなかった。

どんな職業につきたいかではなく、
どんな風に生きたいか。

そこを考えると転職したほうが良いと思う。

僕も、ただミュージシャンになりたいと願っていたら失敗していたはず。

より多くの人の心に何かを残したいという想いは、
会社員の頃とブレていなかった。

アーティストに転職した男
スガ シカオ

(マイナビ転職 新聞広告より)

何だか妙にこのメッセージに共感した私。

就職活動時代、
私は『アナウンサー』という職業になりたかった。
無論、全敗。
夢ははかなく散っていった・・・。
そう、アナウンサーという職業に憧れていただけだったから。

私は旅行会社に入社し、
会社員として4年という歳月を過ごしていた。
何不自由もなく、何の不満もなかった。
むしろ、誇りをもって働いていた。

4年後の退職。

周囲の反対を押し切り、退職。

ずっと正社員で働けたのに・・・
アノ大企業を辞めてしまうなんて・・・
安定した生活が送れたのに・・・

周囲からのこんな声。

でも、私は心揺れ動くことなく、
フリーランスの道を選んだ。

独立。

これは覚悟がいることでもなかったし、賭けでもなかった。
私が描く『私がこんな風に生きたいという生き方』だった。

そこには、「アナウンサー」という職業に憧れる自分はいなかった。

人の喜ぶ顔が見たい・・・。

ただ「伝える」仕事ではなく、
人の心に「伝わる」仕事がしたい。

フリーアナウンサーという「伝える」仕事を選び、
もっと多くの人の心に直に「伝わる」仕事をしたい、
そんな想いからキャリアコンサルタントという資格を取得。

人の心に何かを残していく生き方。

それは、言葉だけではないことを知った。

私は、カリグラフィーデザイナーとして、
言葉を越えた表現法にも挑戦したい、
アートという世界にも飛び込んでいく・・・。

会社員を辞め、
フリーアナウンサー
キャリアコンサルタント
カリグラフィーデザイナーへ転職。

人はこう言う。
「3つの職業のうち、一体、何がやりたいの？」
「結局、どの職業になりたいの？」

私は、『職業』で選んでいるのではなく、
こんな『生き方』がしたいという思いだった。

だから、すべては共通していた。

よりたくさんの人々の心に何かを残していきたい。

この思いは、会社員の頃から変わらなかった。

いや、あの会社員時代の経験があったからこそ、
この思いが生まれ、この思いを育てていったんだと思う。

現在は、オフィス ケイ・アンド・エム代表として活動はしているが、
それは肩書きに過ぎなく、
根本にある思いは変わらないということ。

**どの職業に就くかではなく、
どんな生き方がしたいのか** 。

答えは
意外にも身近なところにあるものだった。

『 倉橋満里子という生き方。 』

28歳 まだまだ未熟な転職経験者より

カウンセラーを目指すみなさんへ

「カウンセラー」という職業への憧れではなく、
自分がどんな生き方をしていきたいのか。

これを深く追求したとき、本当にやりたいことが見えてくる気がします。
まずは、自分自身が誇りをもてる生き方(=キャリア)の中で、キラキラと輝いていたい。

それは、きっとどこかで誰かのためになっている 。

私はそう感じています。